

## I. 建学の精神・大学の基本理念、使命・目的、大学の個性・特色等

### 1 健康科学大学の理念・目的

#### (1) 建学の精神・大学の基本理念

わが国では少子高齢化や後期高齢者の増加、グローバル化を始めとする急激な社会の変化に伴い、これからの医療・福祉のあり方が社会的な検討課題になっている。健康科学大学（以下「本学」という。）は、このような社会のニーズに応えるため、「豊かな人間力」、「専門的な知識・技術力」、「開かれた共創力」の3つを兼ね備えた人材の育成を建学の精神として設立された。

本学は、この建学の精神に基づき、「生命に対する深い理解や、他者と共感し交流できる感性を育て、共生の思想に基づく強い倫理観と使命感を備えた人材」、「理学療法・作業療法・福祉心理又は看護に関する幅広い知識と先端の専門技術を身につけたプロフェッショナルな人材」、「地域社会と連携して人々の健康増進に努め、他の専門職と協同して新時代の医療・福祉を切り拓く、創意に富んだ人材」を育成することを基本理念としている。

要約すれば、「建学の精神」をもとに、「豊かな人間力」、「専門的な知識・技術力」、「開かれた共創力」の3つの力を備えた人材を育成するのが本学の基本理念である。

#### (2) 建学の精神・基本理念に基づく教育の使命と目的

本学の使命と目的については、『学則』第1条に、「教育基本法及び学校教育法の精神に則り、本学創立の精神に基づく人間教育を行い、広い教養と実務的な専門知識を授けるとともに、旺盛なる自主の精神と強い責任感を涵養して、文化の向上と医療及び福祉の進歩に寄与し得る有為な人材を育成することを目的とする」とうたっている。この使命と目的を実現するために、次のような人材育成を目指した教育を行っている。

#### 1) 質の高い医療・保健・福祉の専門職の育成

わが国における医療・保健・福祉を取り巻く環境がめまぐるしく変化する中で、質の高い理学療法士・作業療法士・社会福祉士・精神保健福祉士・看護師・保健師等の供給は、ケアの時代における社会の要請にもかかわらず、立ち遅れている。これらの職種は、医療の現場において単に医師の補助的役割にとどまらず、医師と協力して高度な判断力と医療・保健・福祉の技術を有する専門職としての力を十分に発揮すべきであり、そのため医療・保健・福祉の高度化に対応した質の高い人材が求められている。

こうした社会の要請に応え、本学は、単なる知識の伝達にとどまらず専門職としての高度な判断力を持ち、高い倫理観と豊かな人間性を備えた質の高い医療・保健・福祉の専門職の育成を目標としている。

#### 2) 医療・保健・福祉分野の指導者の育成

21世紀はケアの時代といわれ、医療・保健・福祉の高度化と複雑化はますます進むものと予測される。これに対応するためには、それぞれの領域における高度な専門職が必要となるのは当然であるが、加えて今後それらの人材を教育・指導できる指導者の育成もまた重要である。

本学は、こうした社会の要請に応え、優れた判断力と技術を有し、高い倫理性と豊かな

人間性に加えて、高度な研究能力を兼ね備えた、医療・保健・福祉分野の専門職を指導する指導者の育成をも視野に入れている。

### 3) 開かれた大学としての地域貢献・連携

本学は開かれた大学として、本学における教育研究活動の成果を必要に応じて地域に還元するとともに、地域連携による教育研究活動が重要であるとの認識に立ち、地域貢献・連携に積極的に取り組んできた。本学の地域貢献・地域連携に係る具体的な活動例を以下に示す。

- ・ 大学の教育研究情報の積極的公開・提供
- ・ 市民公開講座、市民参加交流講座の開催
- ・ 地域の医療福祉機関・福祉施設・ボランティア団体等と共同して、地域医療・福祉の発展に寄与する活動
- ・ 富士河口湖町と締結した「包括連携協定」に基づく地域福祉の向上、地域経済の活性化、自然・文化環境の改善及び人材育成に関する活動
- ・ 山梨県内の高等学校8校と締結した「高大連携事業に関する協定」に基づく高等学校教育・大学教育の充実と生徒及び学生の能力向上を図るための活動

## 2 健康科学大学の特色

本学の個性・特色は、本学の基本理念や教育の目的・使命を具現化する教育研究活動そのものにあるが、その中から特色あるもののいくつかを示す。

### (1) カリキュラムに関連した個性・特色

- ①本学の教育目的・目標を実現するため、多彩な科目を開講している。
- ②豊かな人間性と高い倫理性を備えた人材の育成を目指して、「総合基礎科目領域」(健康科学部)・「基本教育科目」(看護学部)の充実を図るとともに、「総合基礎科目領域」(健康科学部)・「基本教育科目」(看護学部)と「専門科目領域」(健康科学部)・「専門教育関連科目」及び「専門教育科目」(看護学部)が各学科・学年ごとにバランスよく履修できるよう、「くさび型カリキュラム」を導入している。
- ③医療・保健・福祉の分野においては、トータルケアを他の専門職者と連携・協同して実施できる人材が求められている。こうした人材を養成するため、健康科学部では「専門基礎科目」を3学科共通の科目と位置づけている。
- ④1年次から4年次までの学生を含む少人数グループ編成による演習を取り入れ、「専門科目」を学んで臨床実習を経験した上級学生の具体的な意見やアドバイス等が下級学生の刺激となるような授業展開をしている。
- ⑤「プレースメントテスト(英語・数学・国語)」を実施し、習熟度別クラスによる授業(英語・数学)や、「リメディアル教育」として国語の補習を行うなど、きめ細かい学習支援を実施している。

### (2) その他の個性・特色

- ①学生自身が図書館の配架や書架整理などの学内業務を有償ボランティアとして行う「ス

チューデントジョブ制度」を取り入れるとともに、オープンキャンパスへの積極的参加を促進し、ボランティア精神や愛校心の向上を図っている。

- ②「研究助成費」制度を設け、学内から研究計画を公募し、厳正な審査により適切と認められた研究活動に対して助成費を交付し、本学教員の研究活動の活性化と高度化を推進している。